

「食」を核とした文化の交流をご紹介します

日本語教室講座交流会

日本式のお弁当づくりを学ぶ

市内各地区の日本語教室に通う方々を対象に交流会（料理講習会）が、11月13日（日）、市中央公民館で開かれ、受講生20人がお弁当作りに取り組みました。

この交流会は、日常生活に必要な調理に関する知識と市内各地区の日本語教室受講生間の交流を深めるため、市の栄養士を講師として、栄養指導を含め、お弁当作りを楽しみながら学んでもらおうと開催されたものです。



◀各地区の日本語教室に通う方々が参加した交流会



◀栄養バランスのとれたお弁当の詰め方も学びました



◀鶏の解体では、生き物と食材のつながりを学びました



◀生地伸ばしやそば切りにも挑戦。うまく切れたかな

地産地消スローフード

鷹巣子ども会育成連絡協議会

北秋田市鷹巣子ども会育成連絡協議会主催の「地産地消スローフード～中屋敷の伝統そばと新たな魅力のヤマノイモ創作料理～」が11月19日（土）、市中央公民館で開かれました。

この行事は、ふるさとの素晴らしい伝統食文化を次世代に残すとともに、家族の健康と食卓の喜びを地元の食材をふんだんに使った郷土料理から学ぶことを目的として開催されたもので、親子26人が参加しました。

メニューは3品。1品目が、中屋敷集落に古く伝わり、呉汁（ごじり）と呼ばれる、大豆と水と一緒に砕いた汁をつなぎにして、そば粉をこね上げる中屋敷そば。2品目は、中屋敷そばをカルタ型に切りそろえたカルタそばと、すり下ろしたヤマノイモ等を鍋に落として作る創作料理「中屋敷そばのカルタ鍋」。

ヤマノイモは、鷹巣東小学校区の方の畑をお借りし、収穫したものを使用しました。そして3品目は、上新粉にヤマノイモをつなぎに加えた生地で作る「じょうよ饅頭」でした。

参加した児童は、保護者とともに力のいるそば打ち作業や、粘りのあるヤマノイモを使った料理作りを楽しみ、地元の食文化に触れていました。

学びの広場

- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

現在の地域の現状を例にとり、これからの地域づくりのためには何が必要なのか、新市「北秋田市」の地域づくりへの貴重なアドバイスをいただき、今後の地域活動に大変参考になりました。また、ユーモアを交えた先生のお話に会場も大いに沸き、大好評の講演となりました。

10月25日、中央公民館主催の「平成17年度北秋田市中央公民館生き生きセミナー」を開催しました。当日、会場には町内会、老人クラブ、公民館講座受講生など総勢170名の参加者が集まって、講師の先生である岩手大学教育学部助教授新妻二男氏が「育てよう 地域のちから」と題して、熱く皆さんに語りかけていただきました。

今後の地域づくりに向けて

北秋田市中央公民館生き生きセミナー



▲老人クラブ、講座受講生など170人が参加して開催された「生き生きセミナー」

生き活き中高年講座

前田公民館移動研修

当講座は市内外の文化・自然を見学し、中高年の心の豊かさを求めることを目的に開かれ、9月21日、能代市文化会館で行われていた「県立近代美術館移動展」に58人の会員が参加しておこなわれました。

館内に飾られた小野田直武の「不忍池図」、平福百穂の「朝露」、下村観山の「三保富士」等の素晴らしい作品を鑑賞し、芸術の秋にふさわしいものでした。

午後には、松山の多宝院・浄明寺を見学・参拝しました。内容の濃い、実りの多い研修となり、参加者からは「大変勉強になった」という声が聞かれました。



▲能代市松山の「多宝院・浄明寺」などを見学

紅葉の森吉山麓を堪能

沢口公民館移動講座

10月9日、前日の雨もすっかり上がり、抜けるような青空の下、野生鳥獣センターでバスから降りて、胸ときめかせながら桃洞の滝に向かいました。

4. 2 kmの道すがら上を仰ぎ見ると樹齢数百年のブナの木が覆い被さってくる、数百年の風雪に耐えて、なお力強くそびえ立っている姿は自然の偉大さ、大切さを我々人間に教えているようです。

ノロ川の景観をめ度ながら桃洞の滝に到着。前日の雨で増水した滝の流れに一同感嘆の声を発しました。紅葉には一寸早かったのですが、宝石のように散らばる黄や赤が緑とよくマッチし、趣のある風情でそ

れぞれカメラに収めたり、脳裏に刻み込んだりして森吉の自然を満喫してきました。



◀奥森吉・ノロ川の雄大な自然を満喫した沢口公民館移動講座